# 厚生労働省における食品中の放射性物質に対する取組について

| 資料2-7

### 各施策に対して取り組むべき内容

◆ 情報提供:国内外への情報発信の工夫

◆ リスクコミュニケーション事業の推進

令和3年度予算額:9百万円の<u>内数</u> (令和2年度予算額:9百万円の内数)

#### 具体的な取組内容

### ◆ 国内外への情報発信の工夫

- ▶ 食品中の放射性物質に関するウェブページでの最新情報の発信
  - 食品中の放射性物質への対応の流れ、検査結果、出荷制限の設定・解除 等について情報提供。
  - 英語版ページも作成し、国外へ最新情報を提供。
- ▶ 妊産婦及び乳幼児の保護者への情報発信
  - 乳幼児健康診断等の機会に周知用のリーフレットを設置してもらう等の協力を、自治体に依頼。
- > Twitterを活用した情報提供
  - 厚生労働省食品安全情報Twitterで、毎週発表される食品中の放射性物質の検査結果のほか、出荷制限の設定・解除に関する情報やその他関連する最新情報を提供する。

### ◆ リスクコミュニケーション事業の推進

- ▶ 全国で意見交換会等を開催
  - 関係省庁及び地方自治体と連携しながら、食品中の放射性物質の基準値等について、消費者、事業者、生産者等を対象に、全国各地で意見交換会を開催。 (平成23~令和元年度で84箇所、令和2年度はオンラインで開催。)

#### 今後の取組方針

- ◆ 必要な情報を分かりやすく提供するツール・機会を検討し、積極的な情報の拡散を図る。
- ◆ 引き続き、関係府省と連携して、意見交換会等のリスクコミュニケーション事業を推進する。

# 参考:厚生労働省の取組

### ホームページによる情報発信

厚生労働省ホームページ「食品中の放射性物質への対応」において、食品中の放射性物質の検査結果やQ&A、パンフレット・リーフレットを提供・公開



### 食品安全情報Twitter

食品中の放射性物質の検査結果や出荷制限の 設定・解除などの最新情報をツイート



# 厚生労働省 食品安全情報 @Shokuhin ANZEN



### その他(意見交換会など)

関係府省や地方自治体等と連携し、意見交換会等を全国各地で開催。加えて、パンフレットや リーフレットの作成・配布を実施。